

熊本市校区社協連絡協議会・熊本市社会福祉協議会共催研修会
 地域での暮らしを支え、その人らしい生き方に寄り添う
 ～在宅医療の基礎知識～
 アンケート調査集計結果

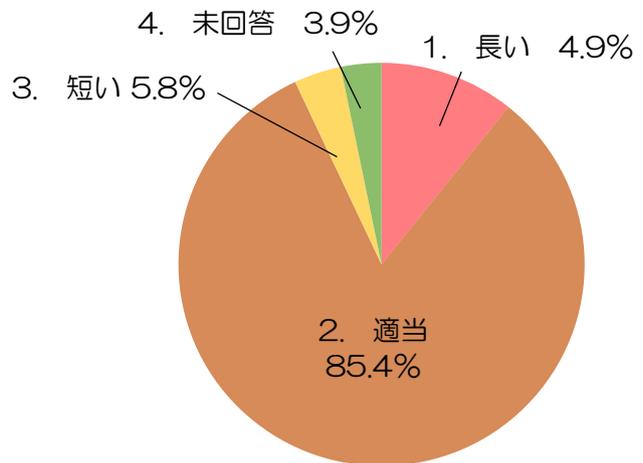
アンケート調査実施日
 令和6年2月28日

アンケート調査票配布・回収数

配布数	回収数	回収率 (%)
205	186	90.7

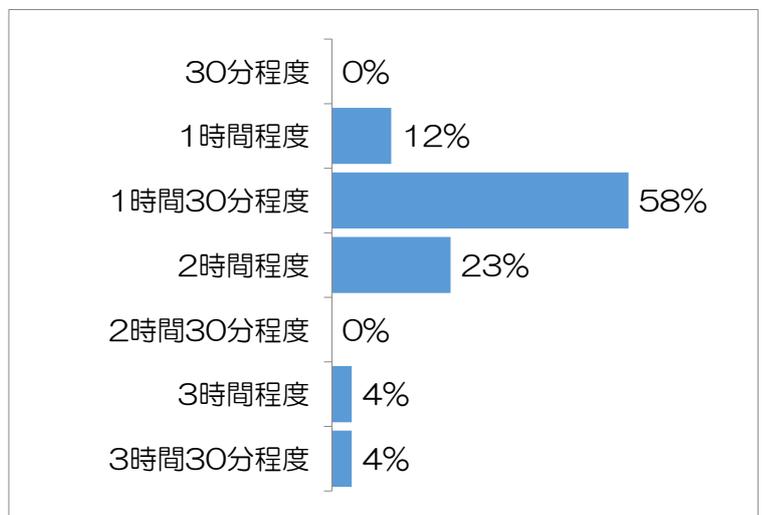
問1 本日の研修時間について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

項目	回答数
1. 長い	20
2. 適当	153
3. 短い	7
4. 未回答	6
計	186



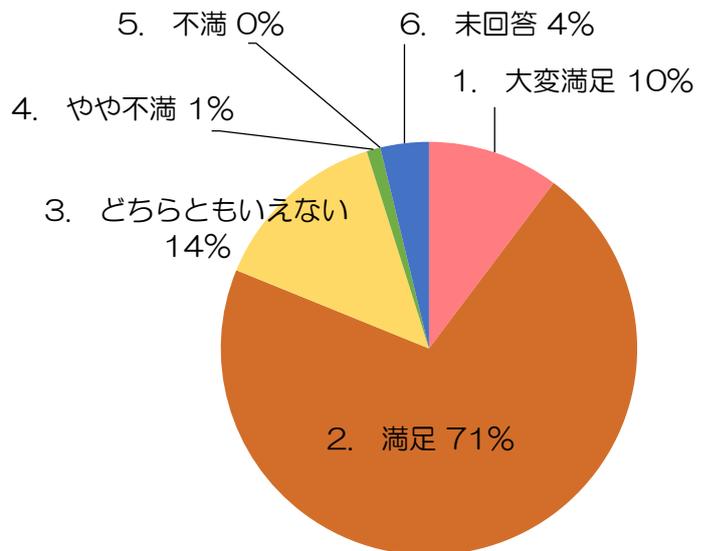
※ 希望する時間は？

項目	回答数
30分程度	0
1時間程度	3
1時間30分程度	15
2時間程度	6
2時間30分程度	0
3時間程度	1
3時間30分程度	1
計	26



問2 本日の研修会全般について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

項目	回答数
1. 大変満足	19
2. 満足	132
3. どちらともいえない	26
4. やや不満	2
5. 不満	0
6. 未回答	7
計	186



※ 特に印象に残ったことや、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

通いの場で、情報を伝えたいと思います。ありがとうございました。

地域に関わる皆さんと一緒に悩みながら進む「チーム」

在宅で療養されている方々へ民生委員として協力したいと思っています。ケア会議に民生委員を参加させていただき、地域で支援ができる体制を作りたい。作ってほしい。偉大なる「お節介」が出来ると思う。

患者さんに対するきめ細かな配慮に感心しました。

チームであること。訪問看護師の重要性を痛感した。

二律背反の現実社会では、ネガティブ・ケイパビリティは重要といわれる。しかし、この事は大事ではあると思うが大変な理解がいる。傾聴が重要と思う…。

ことばとして「住み慣れた処で暮らす」をあたりまえに、大きな目標に向かって皆で進めていかなければいけませんね。

父を在宅医療で看取ったので、共感出来ました。(末期がん)父は自宅に戻って、1週間程度で亡くなりました。訪問看護の看護師さんにはお世話になり、感謝しています。

日頃聞くことができない話を詳しく聴けて良かった。

在宅医療の“しくみ”は分かりました。体験談もお聴きしたかったです。

在宅ケア関連の方々とうまくコミュニケーションをとっていくことが大事だと思います。そのような機会をぜひ考えてみたい。

開始時間を13時～15時にしてほしい。

医師の1人力ではなく、薬、看護師などの協同と、地域の力を大いに支える支援をしていくことの大事さを感じました。

自宅に居ながら治療を受けられるのは、ありがたいと感じる。

在宅医を利用している方を知っていたが、いろんな機関との連携で成り立っているのを新たに知りました。ありがとうございました。

※ 特に印象に残ったことや、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

訪問薬剤、歯科医、リハビリ、栄養士、マッサージ師と色々な在宅訪問があると知りました。地域で説明する際費用が書いてあり今後役立つと思います。

訪問看護に当って、薬の多い時一包化出来る事や、残薬を病院に持って行くと再利用してくれる事を知った。

訪問薬剤師さんがおられることを知り、為になりました。

医療費、利用費についてはもう少し詳しく知りたかった。

知らないことが多すぎる。あまりに複雑すぎる。

めったに聞けない内容で、自分の家族ならどうするか考えました。

松本さんのお話しがすべて理解出来たように思います。本日は出席出来て本当に良かったです。薬について初めて知った事もあり、ありがとうございました。

訪問看護を利用する患者が少しでも増える（在宅死を希望する事）
環境の問題もあると思うが、在宅医療が増加を希望したい
住み慣れた処で暮らすにあたり、自分のことと考えてみたい。

得るものが多く良い研修でしたが、空気がよどんでいたように感じ、眠くなった。
「住み慣れた処で暮らすをあたりまえに」が良い言葉で印象に残った。

駆け足すぎて、全体の印象はわかったけどぼんやりした感じです。身近な事例と照らし合わせながら考えようとしたのですが、進みが速すぎて無理でした。

在宅医療について研修させていただきありがとうございました。いずれ私たちも在宅で皆さんにお世話になると思います。

在宅医療について知る機会をありがとうございました。最近、家族に迷惑をかけるという大問題のために在宅を避ける傾向にあるのは、仕方ないと思います。でも、積極的に考えてみたいです。

マスクをされているので、少し聞きづらかった。

費用の負担が大きいのに驚き

在宅看護師の役割が在宅医療に関わりを多く求められる中、医師や他職種とのチームワークをとりながら実際に実施されていることに感心しました。
どの職種でも人材不足が問題になっているのが高齢者にとっては不安です。

在宅で最期を迎える事には、お金がかかるし、家族の協力が無いと無理だなと思いました。（一人では無理）
嫁を在宅で最期まで看ましたが、入院保険に入っているにも必要がない。
在宅でも保険が出ればいいのかと思ったところです。

医療に関わる人材不足である事、また大変なお仕事なので責任や体力・知力が必要と思います。

地域での人間関係が希薄となっている現状、どのようにつなげて行けばいいのかイメージが湧かない。老人会・子供会も消滅し、自治会入会者も減っている現状。

チームで関わって患者さんを見ています。

服薬状況の説明でシールの紹介及び薬の一包化について

二律背反。ネガティブ・ケイパビリティ。

※ 特に印象に残ったことや、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

聞き取りにくかったです。

訪問看護の実態

在宅医療に関わる費用に興味があった。

在宅医療がもっと多くの病院に広がっていくとありがたい。訪問看護の内容をもっと聞きたかった。

松本先生の話の内容はとても勉強になりましたが、話す時に強弱があればもっと良かったです。（話しの内容が聞き取りづらかったです）
後半は聞き取りやすく、内容を理解できました。

在宅医療を受ける訪問看護の重要性がわかった。本人が希望するのであれば、在宅医療はとても良い事だと思う。

ACPに納得。治療されている患者さんの声がきけたら。

時間が短い。プロジェクターの文字もレジュメの文字も小さい。質疑の時間もない。
研修会を9~12時半もしくは13~16時半に行ったら良いのではないかと。

それぞれの考えを聞くことができ、参考になりました。個人としては、親が薬剤師さんの在宅サービスに大変お世話になっております。

私も最後は自宅ですと思っていますが、家族に心配や迷惑をかけると思うと、決心が付きません。
訪問看護をお願いし、出来たら孫達と触れ合いながら自分の家で、部屋で最期を迎える事が希望と考えていますが…

3年前、104歳の母を夫婦で看取りました。自宅で地域のクリニックから訪問看護を2週間ほど受けた。咳が取れるまで訪問しようということ、大変お世話になった。本当に人は簡単には死なないが、しかし簡単に死ぬのですね。実感しました。

薬剤師さんも訪問されると聴いて驚きました。良い取り組みだと思います。
進行が速くてついていけない所も多々ありましたので、もう一回聴いてみたい。

訪問薬剤師がいること…知らなかった。本人の意思・希望が叶うまでの経過が大切だと思う。民生委員としてどこまで関われるか非常に疑問だが、知識として知っておく必要はある
医者によって関りがとても違うので、どうしたら良いのでしょうか？

現在の在宅医療の現場の声、対応、今後について勉強になりました。

〈在宅医療の基礎知識〉についての今日の研修は、具体的でわかりやすくとても良かったです。
ありがとうございました。

医療については専門的な部分もあり、現状ではまだまだ訪問治療は少ないように思う。費用、環境などよくわからない。

訪問看護について具体的な事例をあげて紹介されたので、わかりやすく理解しやすかった。

時間がたっぷりあるときに、松本先生の話を知りたい。

1つ1つをもっと詳しくゆっくり知りたかった。

看護師・薬剤師・介護専門員の方の具体的なお話を聴くことができ、分かりやすかった。

在宅を希望するには、家族の理解が必要。家族の愛情と決断力がないとできないと思う。
問1については、開始時間を早めて、早く終わってほしい。

もしもの時の家族会議と医療・介護との多職種連携で患者とその家族の意向を汲み取り支援する必要性を改めて感じました。日々悩みながら支援していますが、パワーを頂きました！

※ 特に印象に残ったことや、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

在宅医療、薬剤師サービス利用のご案内・紹介。

介護について勉強になったので、それをこれから活かしていきたいと思っています。

親は亡くなりましたが、その前に在宅医療について基礎知識をもっておきたかったと思いました。親の介護をこれからしていく世代に聴いてほしい内容でした。

もっとゆっくり勉強したい

在宅医療の場合「愛する人と最期まで一緒に過ごせる事」は幸せだと思います。また、患者を支えて頂けるスタッフの方より「最後まで生きる力を支え、ケアしてもらえる事」も感謝です。在宅医療についてどの様な内容なのか知識を得る事ができ、とても良かったと思います。

自分が思っていた以上に、在宅介護や医療の大変さが分かりました。これからの高齢化社会に絶対に必要な医療体制だと思います。

在宅医療について、もっと深いことを知りたい。
今日話された事は、軽いor末期近い方が多かったが、重症でもずっと診る人もいる。

介護支援をうまく利用することができれば、家族も助かります。

松本先生のお話がとても心に残りました。他の方々のお話も大変勉強になりました。

各医療分野の話が分かりやすく入ってきた。在宅医療の実情にあった話なのが良かった。

今までは家族に迷惑を掛けたくないと思っていましたが、在宅医療も人として良いのかなと思いました。看護師の給料アップもぜひ進めてほしい。

在宅医療はチームで行われていることは理解できましたが、それぞれに多くの任務問題を抱えておられ、すべての内容を理解することは困難でした。理解の窓口には立てたと思います。

私の家内は認知症で、老人ホームに入居中ですが、訪問医療、訪問看護、訪問口腔ケア、訪問歯科、訪問フットケア、訪問薬剤を受けています。本日の話を聴いて、それらのご苦勞が良く解りました。担当地域での在宅医療の教宣を行いたいと思います。

・チームで支援していく事が重要　・共感的、積極的傾聴

・「人は死ぬ事」をもっと一般の方も理解が深まったと思う
・「互助」の大切さ（地域の方、身内含め）

在宅医療について具体的にわかった事。訪問看護の現状と課題の実状について。

在宅医療について学べる良い機会となりました。ありがとうございました。

はじめの松本先生のことばにあった、「寒い日、外来にこないで、往診してあげるよ」という医師がおられるのか…と思った。

人材不足であること

在宅医療の関係機関と地域が連携した活動が具体的に紹介され、今後連携することへの重要性が理解できた。

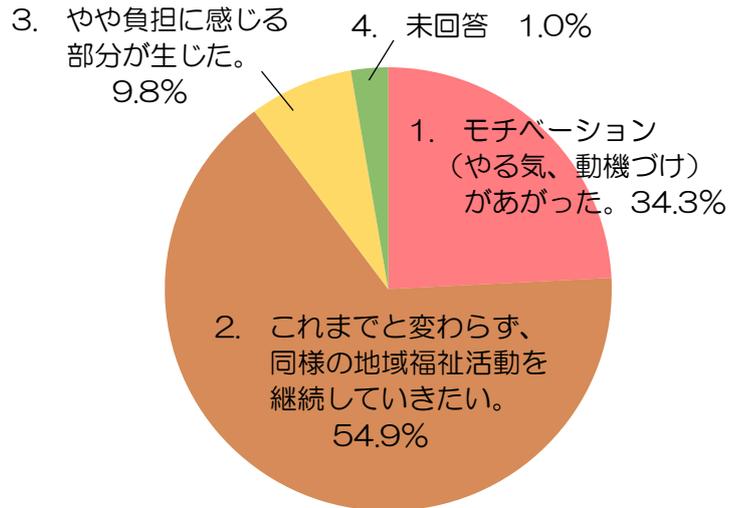
在宅医は重労働に思います。担当医・看護師・介護士の連携が非常に重要と思いました。

趣旨説明・前置きは詳しくいらなかったのではないかな。内容は盛り沢山の話でとてもためになった。講師の話を十分に聴き、地域に活かせるところは取り上げていきたい。

問3

本日の研修会を受講後の感想について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

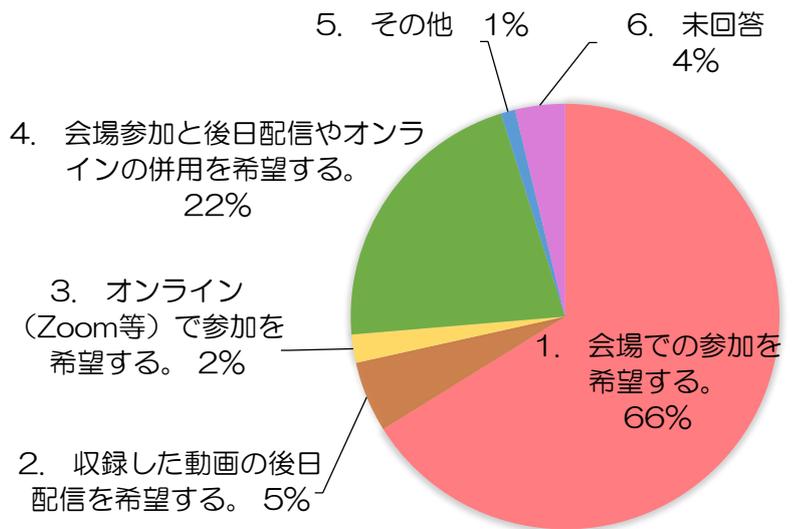
項目	回答数
1. モチベーション（やる気、動機づけ）があがった。	45
2. これまでと変わらず、同様の地域福祉活動を継続していきたい。	122
3. やや負担に感じる部分が生じた。	14
4. 未回答	5
計	186



問4

コロナ禍での研修会開催について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

項目	回答数
1. 会場での参加を希望する。	123
2. 収録した動画の後日配信を希望する。	10
3. オンライン（Zoom等）で参加を希望する。	4
4. 会場参加と後日配信やオンラインの併用を希望する。	40
5. その他	2
6. 未回答	7
計	186



・その他

その後の地域での深め方に悩みます。

後日配信の方が時間の都合がつきやすく良いが、ちゃんと見るかどうか…

問5 今後、研修会に参加するにあたり興味がある内容や話を聞いてみたい講師の方をご存じであれば記入ください。
また、今後の研修会の開催に向けて、何かご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

	回答数
自由記述	49

先生以外の若い人の話が速く、少々聞き取りにくかった。

認知症についての全般的な対応（関わり合い）等について、講習会があればと思っています。

民生委員の参加をすすめてほしい。

社協の役割はますます大きくなり、どう対処したら良いか理解する事が大変。だから、連携体制があるささえりあを巻き込んで一つ一つ出来る事をやろうと思うが、難しい…思いであります。

共に人生会議が大切だと思った。在宅医療の講話は初めてだったので、勉強になりました。

これからの社会の問題、地域の問題であり、自分の問題に目を向ける事は大切で、とても良い事だと思う。お話が早く進むので、もう少しじっくりと話を聞きたかったです。

年金での支払いでは少々負担が大きかったです。

認知症対応について。フレイル予防について。

レジュメをもっと「見易く」して下さい。（字を大きく）
今日の3人のうち、1人目の人の話は良。あとのひとは小さすぎた。

資料について、小さい字が多くあり高齢者には見えにくい所あり。
開始時間について、帰宅が遅くなるので12時頃からの開始が望ましい。

2025年問題を目前に控え、在宅医療は極めて重要と思いますが、訪問する医師・看護師・薬剤師等人材不足が本当に大きな課題である。

ケアマネの役割等に関心がありました。
とても興味ある研修で良かったです。自分の事として研修を受けた。

社協＝老人福祉のようなイメージがあるのですが、色々な方、年齢への福祉のあり方について知りたいと思っています。
今は色々あって今以上はできないが、少しずつ良い方向に変えていけたらと思っています。

文字・グラフが見にくい（小さい）

ACPは救急の場でも導入を考えられています。「人生会議」について考えてみてはどうでしょうか？

内容が多く、もっとテーマ毎に分けてそれぞれ研修を行った方が良いのでは。（医療・看護・薬剤・介護等）

チームで関わることの大切さを改めて学びました。ありがとうございました。

今回の研修は、現実味がありとても役に立ちました。中々医療側からの話は聞けないので、とても分かり易く良かったです。ありがとうございました。

松本先生の話をもっと聞きたかった。

色々な知らない事を学びました。資料が小さく、読めないページもたくさんありました。

問3-3について

大切だとは認識していますが、やや負担に感じる部分が生じた。

理由は、社協活動との関連やACPの理解が不十分なことから現時点で訪問看護を選択するような積極的働きかけが難しい。

認知症の方に対してどういう接し方をしたらいいのかわかりません。認知症になったら銀行も郵便局も自分で引き落とす事もできない。でも、いつそうなるかわからない。そういった内容や話を聞いてみたいと思います。

席が足りない。ほとんどの人がマスクをしているので、空き席をしなくても良いのでは。参考になりました。特に自分の事として。

介護をしたことがなく、在宅医療とはどんなものかと思い、参加しました。在宅医療とは高齢者だけでなく、子供さんの場合もあるんですね。多職種連携の大切さが良くわかりました。

ケアマネージャーの話を詳しく聴きたい。

地域で見守りが成功している所の話。

もう少し分かりやすい資料がほしい

薬剤師の訪問介入

医療負担（在宅）についてももう少し話を伺いたい。（町内の方に話せるように）

- ・健康に暮らすための高齢者の日常生活で実践されている方のお話等
- ・在宅医療機関（どの病院で対応されているのか）あまりわからないところがある。

小単位での研修が出来ればと思います。内容が難しい面があり、他に伝えると難しさもあるように思えますが、広めるという事に地域で出来たらと思いました。

子どもサポート関連

高齢者を含む子ども食堂関係の実例に興味があります。体験発表、意見交換の場。

とても良いお話でしたが、時間が足りなかったので、早口で聞き取りづらい方もおられました。今後ともよろしくお願いいたします。

認知症になられた方を、地域ぐるみで支えていくための学習会と認知症の方に対応する時の「実演」等もあつたらと考えます。

各校区にて研修会を開催したいと思った。

- ・救急車利用時の注意点
- ・病院も専門にそれぞれ通院している場合、かかりつけ医となるとどこになるのかと考えてしまう。

子どもの諸問題とその対応について

ディスカッション形式で本日のような「生の声」経験談や想いを感じることができるといいような研修会にぜひ参加したい。

問1については、1時間半の間に途中休憩を入れることを希望

- ・在宅医療・介護の研修会は継続するべき
- ・病院も行政も一般の方へ向けて伝え続けるべき

在宅医療について解りやすく話していただき、大変勉強になった。
訪問看護・薬剤師・ケアマネからの発表も分かりやすかった。

在宅酸素療法、呼吸器疾患の講義。在宅看護。

質問 ※今回の研修を受け、アンケートに記載のあった質問一覧

【質問】 単身者の在宅医療は可能か？
一般診療所でも在宅で診てもらっている方もいるが、それとは別なのか？

【質問】 在宅医療の基本を具体的に教えていただきたい。
・在宅と入院のメリットデメリットは？（医療、費用等）
・在宅ではムリで、入院対応しかできない疾患・病状は？
・家族がしっかり関わらないと在宅は難しい？
・どこのエリアに住んでいても、在宅医療・薬の配達は受けられる？

【質問】 訪問看護等ができる医院を地域ごとに知りたいです。

【質問】 それぞれの機関にのっかっているが、地域型医療はできないのか？

【質問】 在宅医療を実施・啓発するところは？話をしてもらえたら嬉しい。

【質問】 訪問看護をしてくれる病院を捜せないと思う。

【質問】 看取られる立場に立った場合、緩和ケアと強く望むことができるのでしょうか？
医師と患者は立場が違うと言われた時はどうなりますか？

【質問】 認知症の方を支援に結びつける事が多くあります。
良いアイデアはありますか？

【質問】 2040年問題とは何ですか？

【質問】 今日のような研修・勉強会はどれくらいの集りで開催してくれるのか？

【質問】 本人・家族との意思疎通について
・本人に認知機能の低下があり、認識障害や思い違いが見られる。
・家族は離れたところに住んでいる。
このような状況の場合、どのように意思疎通（本人・家族）をとられるのか？
情報伝達をどうされるのか、を質問したいと思いました。

【質問】 薬が効いているのかのチェックについて
総合チェックができる在宅。（薬剤師の役割、家族の目、関係サービススタッフの目）
この仕組みをつくり、動かすのは誰でしょうか？ケアマネでしょうか？